

Newsletter 4

令和7年度末に実施された利用者アンケートの回答結果のまとめをお送りします。皆様から寄せられた温かいお言葉や率直なご意見は、私たちがより良い園づくりを進めるための大変貴重な財産です。全体として、とても高い評価をいただきましたが、肯定的なお言葉に甘えることなく、様々なご意見を元に子どもたちにとってより良い環境を作ることを目指し、更に努力を続けていきたいと思えます。

Topic 1

園の強み

★とりやまこども園 保護者アンケート結果★

総合満足度100%!

『子どもがとりやまこども園に入園して良かったと思うか』という問いに対し、すべての回答者様(100%)から肯定的なご回答をいただきました!

園長からのメッセージ:
温かいお言葉をありがとうございます!当園の3つの強みと、保護者の皆様からいただいた嬉しいお声をご紹介します。

◆とりやまこども園 3つの強み◆

① 子どもまんか・異年齢保育

成長実感度: 98%以上
子どもたちが主体的に話し合っている姿勢が評価されています!

下の子の面倒を見る優しい子になった
自分で考える力が育っている

② 保育者の深い寄り添い

安心と信頼のサポート
日々の細やかな連絡や不安への迅速な対応で、保護者の方の精神的な支えに。

安心して預けられる
命の恩人です

③ 給食と食育活動

『給食が美味しい』と約69%が最高評価! (『とてもそう思う』の割合)

家では食べないものも完食する!
収穫や出汁の勉強など、体験を通じた食育が素晴らしい

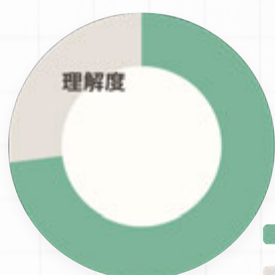
Topic 2

今後の課題



とりやまこども園が考える幼児教育・保育の理念やコンセプトがあまり伝わっていないことが、現状の課題の一つです。なぜ、「わくわく保育」なのか?子どもたちが、自分たちの意見で色々なことをに関わりながら、日々を作り出していくことの意味は?など、説明しようとするとても時間がかかりそうな部分もあり、今後の課題と言えます。

「わくわく保育」への理解度に関する課題



3歳以降の生活の中で、大きな位置を占める「わくわく保育」のコンセプトについて、3割近い方がまだよくわからないと回答しています。3歳未満児クラスの保護者の方には、まだ触れたことのない部分なので、ある程度致し方ないところはあるかもしれませんが、園として発信をどうしていくかは、課題と言えます。

また、「行事の内容を先生や年長さんが決めている」と年長以外のお子様に誤解されるケースもあり、子どもたちが話し合っているプロセスの発信不足が浮き彫りになりました。

大切なお子様と保護者の皆様のために。
園の現状報告と改善への取り組み



情報伝達とルールの徹底

園長からのコメント：『スピード感と正確さ、
そして園全体での情報共有を強化します』

- ルールの統一**
職員によって言うことが
違う（行事・決まりごと）
- 事務的な行き違い**
買い替え連絡の直後に
「使用中止」の通知が来る
- 迅速な情報共有**
インフルエンザ等の
感染症情報の配信遅れ
- 情報の安全管理**
他クラスの連絡帳の誤配信
（プライバシー保護の徹底）

安全・設備・行事環境の改善

園長からのコメント：『安全な環境づくりと、
思い出に残る行事運営を第一に考えます』

- 園舎の老朽化**
床のトゲ対策
（補修・改修）
- 観覧環境の改善**
座席配置見直し
（見えにくいを解消）
- 駐車場の安全**
水たまり解消、
逆走防止
- 記録の充実**
発表会等での
全員集合写真

Answer

2025年度 とりやまこども園 アンケート Q2 ピックアップ



自由記述では、日頃の保育への温かい
ねぎらいや感謝のお言葉をたくさんいた
だき、職員一同「よし、明日も頑張る
ぞ！」と大きな力をいただきました。

一方で、切実なご心配やご要望もたく
さんいただきました。

特に「職員数」について少しお話しさ
せていただきますと、実は当園、国の基
準よりもかなり手厚く職員を配置して
おります。「それでも足りない！」と感
じさせてしまっているのは、私たちの今
の課題かもしれません。正直に申し上げ
て、園の努力だけでは解決が難しい社
会的な背景もあります。

ですが、「できない」と下を向くつも
りはありません。たとえ少しずつでも、
今ある環境の中でできる工夫は必ずあ
るはず。いただいたご意見から逃げ
ず、職員一人ひとりが皆様の声に耳を傾
け、より良い園づくりに向けて真摯に向
き合っていきたいと考えています。

Future

少子化で周辺の子どもたちが減っているのは事実です。必然的に園の規模を縮小せざるを得ない局面が来る日も近いかもしれません。だからこそ私たちは、選んでくださったご家庭への感謝を胸に、これまで以上に「保育の質」にこだわりたいと考えています。

まずは、子どもたちの小さな声を聞くことから。「すべては子どもたちの笑顔のために」、私たち大人も一緒にワクワクしながら成長していきましょう！

